ClearSight Analyzer 7.0.7
ビルド **19**
リリースノート
2009/10/23

概要

このリリースノートは ClearSight Analyzer (CSA) 7.0.7 について記述したものです。CSA7.0.7 では CSA7.0.6 のすべての機能に加えて、以下の新機能追加と不具合修正が行われています。

CSA 7.0.7 の新機能

- **3G-324M 再生**
  AMR または MPEG4 コーデックを使用する 3G-324M フローのメディアコンテンツを再生できます。
- **Wireshark バージョン 1.2.2 サポート**
  Wireshark バージョン 1.2.2 をサポートします。

CSA 7.0.7 で修正された不具合

- **アンインストールに失敗した場合に、インストール時に再起動ループが発生する問題**
  以前のバージョンでは、古い製品のアンインストールに失敗した場合に、アップグレードインストール時に再起動ループが発生し、ユーザーが新製品をインストールできませんでした。

既知の不具合と制限

- **フィルタオプションが NT20X (10G) アダプタで起こす問題**
  キャプチャのフローフィルタにおいて、「双方向」と「除外する」の両方のオプションをチェックした状態では、キャプチャが失敗することがあります。
- **ICQ フローにおける不適切なラダービュー**
  ICQ フローがメッセージを持っていない場合、ラダービューの表示は適切に表示されません。
- **IDN はサポートされていません**
  DNS トラフィックが IDN (Internationalized Domain Names)を持つ場合、その名前は正常に表示されません。
- **いくつかのコーデックにおいてプレイバック時間が誤って表示される**
  ユーザーが MPV/H263-1998/H264/MP2T をポップアップウィンドウでプレイバックした際、ウィンドウを拡大するとプレイバック時間が以前より大きく表示されます。
- **短いフレームにおいて誤ったポート番号が表示される**
  フレーム長が 54 バイト以下の場合、ネットワークコネクション画面において、そのポート番号は 0 と表示されます。
- **CSA を起動したまま Vista を再起動すると、Vista がクラッシュする**
  Vista 上で CSA が起動した状態で OS を再起動すると、Vista がクラッシュします。
- **誤った 10G カードのステータスが表示される**
  Windows の**[ネットワーク接続]**ウィンドウで、ケーブルは接続されているにもかかわらず、10G カードのステータスが「切断」と表示されることがあります。
- **フレームサイズの制限**
  XL2 カードは 10240 バイトのフレームまでキャプチャすることができますが、10G カードの場合 10000 バイトまでしかキャプチャすることができません。XD カードの場合は、12288 バイトのフレームまでキャプチャすることができます。